

2 土砂流出に対する待受け対策について

- ・C、Dの谷部の土砂流出対策としての待受け対策は、応急復旧として導入した透過型の土石流・流木対策工（VCCO工法）をそのまま残して改修する方向で考える。E、F谷についても、新設で待受け対策を考えている。
- ・待受け対策は、文化庁補助事業や砂防事業としては考えておらず、市の単独事業になる予定。その改修（補足土砂量を増やすためのVCCO工の鋼管柱の嵩上げ）のための設計も本業務内で対応すること。

3 松山市緑町土砂災害技術検討委員会 第3回委員会への本復旧に関する報告内容について

- ・上部斜面对策については、対策工平面図、標準断面図、工法比較案までを委員会に提示する。

以上